

平成28年度「特別支援教育に関する実践研究充実事業
(特別支援教育に関する教育課程の編成等についての実践研究)」報告書

団体名	京都府教育委員会
研究開始年度	平成28年度

I 概要

1 指定校の一覧

設置者	学校種	障害種	学校名（ふりがなを付すこと）
公立	特	知的障害・ 肢体不自由	きょうとふりつやわたしえんがっこう 京都府立八幡支援学校

2 研究テーマ

インクルーシブ教育システム構築に貢献する、交流及び共同学習を中核に据えた教育課程改善に関する実践研究

3 研究の概要

指定校では「共生社会につながる交流及び共同学習～生きる力を育む教育課程づくり～」を研究主題とし、以下の研究内容に取り組んだ。

(1) 研究内容

交流及び共同学習における指導のねらいを、教科別・領域別の指導、各教科等を合わせた指導における指導のねらいとの関連で設定し、自立と社会参加に向けて一人一人の児童生徒に必要な力が育まれているかを実践的に検証する。

- ①交流及び共同学習の教育課程における効果的活用
- ②交流及び共同学習を実践する際の指導のねらいと、日々の教育活動との関連性の検討
- ③日々の教育活動で培われた力が、どのように交流及び共同学習において発揮されたのかの分析

(2) 方法

- ①年間をとおした授業改善研究の実施と、研究協力者（プール学院大学 石塚謙二教授・立命館大学 青山芳文教授）による授業評価
- ②「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点に基づく評価規準による学習評価の可視化
- ③交流及び共同学習場面(直接交流、間接交流を含む)におけるエピソードの記録
- ④交流相手校の生徒・教職員、指定校の生徒・保護者・教職員対象アンケート実施と分析
- ⑤視察等による全国の先進事例の収集

4 研究の成果

(1) 交流及び共同学習の教育課程における効果的活用

年間をとおして、教育課程に積極的且つ継続的に交流及び共同学習を位置付け、教科別・領域別の指導、各教科等を合わせた指導のねらいと密接に関連づけて計画的に展開することが、交流及び共同学習の教育効果の向上につながることがわかった。

- ・交流及び共同学習を、各教科等を合わせた指導等の内容とねらいに関連付けて実施した。児童生徒が自信をもって取り組む様子や予想以上の力を発揮する様子が多くあり、この位置付けが効果的であったと考えられた。
- ・指定校の全学部、全学級において、学習目標と手立ての妥当性を意識した授業改善に取り組んだ。児童生徒一人一人の指導の目標・内容・方法・手立てを具体化し、評価するために、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点に基づく評価規準による観点別評価を実施した。児童生徒一人一人の指導のねらいが具体化されたことで、ねらいの達成につながり、評価を可視化することができた。

(2) 交流及び共同学習を実践する際の指導のねらいと日々の教育活動との関連性の検討

教科別・領域別の指導及び各教科等を合わせた指導において、交流及び共同学習の場面で力を発揮することを目指して関連付けた指導を展開することは、総合的に生きる力を育むことになると考えられた。

- ・交流及び共同学習の指導のねらいを、地域社会でよりよく生きる力を育むことと位置付けた。
- ・同時期に指導する各教科を合わせた指導、教科別・領域別の指導において、一人一人の指導のねらいを関連付け、指導を総合的に進めていくことにより教育効果が上がり、実際に地域社会で使える力に近付くことがわかった。
- ・「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点を有機的に結び付けながら、知的障害のある児童生徒にとって、断片的になりやすい知識や技能を「生きる力」として検討した。

(3) 日々の教育活動で培われた力がどのように交流及び共同学習において発揮されたのかの分析

- ・各教科等を合わせた指導等の単元内に交流及び共同学習を設定した。わかってできる自信や、意欲的に人と関わろうとする姿等、日々の教育活動で培われた力を交流を節目として発揮することができた。
- ・交流及び共同学習において、予想しなかった場面や状況であっても課題解決に向けて主体的に取り組む児童生徒の姿から、交流及び共同学習で培った力の積み重ねが地域社会でよりよく生きる力につながると考えられた。

5 課題と今後の方策

(1) 授業改善研究の継続

社会に開かれた教育課程における、人とのつながりの中で誰もが成長できる姿を目指す授業づくり

(2) カリキュラムマネジメントの充実

交流及び共同学習の教育課程における効果的な活用

「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点に基づく評価規準による観点別評価の取組による評価の可視化と精度の向上

(3) 交流及び共同学習の教育的有効性について社会との共有

(4) 年間指導計画の作成

教育課程上に配置された各教科等を合わせた指導と交流及び共同学習、行事等との関係が一望でき、学びの連続性が見える年間指導計画の作成

(5) 地域の小中学校や高等学校と共同した実践等、地域社会と協働した取組の実施